



まなびの教室



『まなびの教室』は
一人ひとりがもっている力を
伸ばすために、それぞれに合った
学び方を学習する教室です。

新宿区教育委員会

『まなびの教室』に通うお子さん

知的発達に遅れはなく、通常の学級での学習におおむね参加できるが、次のような様子が顕著に見られ、特別な指導を必要とするお子さん

例えば…



- 落ち着きがない
- 集中する時間が短い
- 一斉指示が聞き取れない
- 一人でしゃべり続けてしまう
- 興味・関心の偏りが大きい
- 相手の気持ちを感じとれない
- 予定や手順の変更を受け入れられず、興奮したりパニックになったりする
- 集団でのルールや動きに合わせにくい
- 嫌なことがあるとかっとなじやすく、物や人に当たる
- 読む、書く、聞く、話す、計算する、推論するといった能力のうち、特定のものの学習に困難がみられる



『まなびの教室』で学ぶこと

- 1 得意なことや不得意なことを分析し、その子に合う取り組み方を提案・支援することで、自分自身を知り、自信をもつきっかけを作ります。
- 2 他者との良好な関係を築けるようにコミュニケーション方法などについて学びます。



- 3 苦しい時や辛い時に話を聞くなどして、お子さんに寄り添い、気持ちが整理できるように手助けをします。他者に援助を求めたりするなど、具体的な解決方法を身につけられるよう段階的に学びます。
- 4 体の使い方や力加減、気持ちをコントロールする力を身に付けられるようなプログラムを通じて、いろいろな生活場面に役立てられるようにします。

『まなびの教室』指導の様子

『まなびの教室』の指導方法には、個別指導と小集団指導があります。

個別指導



小集団指導



まなびの教室に通う児童のある一日

※1、2時間目にまなびの教室へ通う児童

- 8:10 学校に登校
- 8:25 全校朝会
- 8:35 教室で朝の会に出席
- 8:40 「まなびの教室」へ移動
 - ・個別学習
 - ・小集団学習
- 10:15 中休み(友達と遊ぶ)
- 10:35～ 3時間目以降の授業(教室にて)

小学校

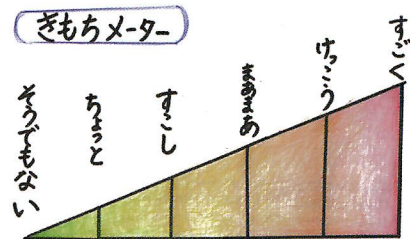
指導の具体例 (個人に合った指導を行いますので、これは一例です。)

漢字が正しい形で
なかなか覚えられない



得意なことや興味・関心のあることを関連付けた教材、ゲーム等を通じて、楽しみながら学べる工夫をしています。

気持ちの切り替え、
感情のコントロールが苦手



視覚化することで、今の感情のレベルに気づき、適切な調整ができるよう学びます。

支援や指導で耳にする言葉だけど、何のこと？

ソーシャルスキル トレーニング

社会生活やよりよい対人関係を営んでいくために、モデルを見せ、ルールや言葉を具体的に伝え、実践や振り返りを通してスキルを身に着けるトレーニングをソーシャルスキルトレーニングといいます。

ビジョントレーニング

文章を読み飛ばしてしまう、ノート書きに時間がかかる、字の形がうまく整わないなどの理由の一つは目の動かし方にあるかもしれません。目を動かす機能などを伸ばすトレーニングのことをビジョントレーニングといいます。

アンガーマネジメント

悪気はないのに友だちとけんかをしてしまう、怒りがすぐに収まらない、気持ちの切り替えがすんなりいかない、そんな自分の怒りの感情と上手に付き合えるようになるために自分にとっての有効な方法を学んでいくことをアンガーマネジメントといいます。



中学校

指導の具体例 (個人に合った指導を行いますので、これは一例です。)

上手なコミュニケーションの方法を知ろう

上手なコミュニケーションとは…

相手を非難したり傷つけたりせず、自分の意見、考え、気持ちを素直にその場にふさわしく表現する方法

- ・私が良ければ相手はどうでもいい→×
- ・相手が良ければ私はどうでもいい→×
- ・私も相手もどちらも大切にしたい→○

場面

隣の子があなたの筆箱を勝手に開けて、消しゴムを黙って使っていました。

あなたの気持ちは？

→急に筆箱を開けられてびっくりしたし、黙って消しゴムを使われて悲しくなった。

どうしてほしい？

→使うときには言葉でちゃんと伝えてほしい。

最後に…

「わかったよ」と相手が言ったら「ありがとう」と言う。

上手なコミュニケーションの有効な練習方法の一つにロールプレイがあります。適切な言葉や態度で表現していく力をつけることで、「自分の想いは相手に伝わる」という自信がもて、よりよい対人関係の築きにつながっていきます。



◆ 作文の書き方 ◆

出来事

①いつ、②だれが、③どこで、④何をしたか

感じたこと

どんな気持ちになったか なぜそう感じたのか

考えたこと

これから先に活かせること

項目ごとに枠を作ると、話の整理がしやすくなり、文が書きやすくなります。作文や物事を整理することに苦手意識がある子に対して、取り組みやすくなるきっかけをつくれます。



保護者の声

いろんなことを積極的に前向きに取り組むようになり、新しいことに対する抵抗が減ってきているように感じます。

在籍しているクラスの様子も見た上で、本人に合った指導をしてもらえるので安心できます。

本人なりに頑張っている姿に、まなびの教室の先生方が目を配り、温かく見守ってくれることを親子共々実感しています。

まなびの教室 Q & A



Q どのようにして『まなびの教室』の時間割が決まりますか？

A お子さんの状況や引継ぎ資料などを踏まえ、まなびの教室の教員が、学級での様子を観察したり、保護者の方との面談や担任への聞き取りを通して時間割を決めていきます。

Q 『まなびの教室』の利用を始めるのはいつですか。

A 4月中旬頃から開始します(新小学1年生は5月以降)。
まず新しい学年やクラスなどの環境に慣れてから指導を開始します。

Q 一度通うと卒業まで通うのですか？

A 利用期間は一年が基本です。
お子さんの状況によって、次年度に継続して利用することもあります。

Q 『まなびの教室』に行っているときに
通常の学級の授業は受けられなくなりますか？

A 基本的には受けられませんが、受けてない授業については担任と十分に連携をとり、お子さんや保護者の方が安心して「まなびの教室」に通えるようにしています。

Q 希望すれば全員が利用できるのですか？

A 『まなびの教室』を利用した方が良いと判断された場合に利用できます。

Q 周囲の友達に受け入れてもらえるでしょうか？

A 『まなびの教室』は、誰にでも苦手なことがあり、一人ひとりの苦手なことや困っていることに合わせた学び方で学習する場所です。そのことをみんなが理解できるよう、学校・学級全体に指導しています。

[まなびの教室] [就学に関する相談] 等のお問い合わせについては

新宿区教育委員会事務局 教育支援課 特別支援教育係 ☎ 03(3232)3074